

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 28 日

上場会社名 **ダイトケミックス株式会社** 上場取引所 大証第 2 部
 コード番号 4366 URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 代表取締役 執行役員社長 村瀬 千弘
 問合せ先責任者 取締役 執行役員 管理部長 二宮 榮規 TEL(06)6911 - 9310

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 3 四半期	10,840 7.2	604 3.7	482 4.0	270 23.3
19 年 3 月期第 3 四半期	10,108 7.2	583 —	502 —	352 —
19 年 3 月期	13,426	575	403	355

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	24 66	-
19 年 3 月期第 3 四半期	32 14	-
19 年 3 月期	32 37	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	19,809	13,336	67.1	1,212 82
19 年 3 月期第 3 四半期	18,670	13,293	71.0	1,208 56
19 年 3 月期	19,839	13,293	66.8	1,208 44

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金		
(基準日)	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19 年 3 月期	3 00	3 00	6 00
20 年 3 月期	3 00	3 00	6 00
20 年 3 月期(予想)			

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)
 業績予想 (平成 19 年 11 月 6 日発表) の見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う : 無
 特定子会社の異動)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 以外の変更 : 無

〔(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済は、個人消費は横ばいながら、企業の設備投資の増加により、景気は緩やかに回復しておりますが、サブプライムローン問題に端を発した米国の景気の減速懸念や原油価格の高騰、原材料価格のさらなる上昇等、不安な要素も見られました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動、新製品開発の促進等に全力をあげて取り組みました結果、原材料価格の上昇の影響はありましたが、化成品事業の感光性材料および医薬中間体、環境関連事業の売上が増加したことにより、前年同四半期比増収となりました。

この結果、当第3四半期における業績は、売上高 108 億 40 百万円、営業利益 6 億 4 百万円、経常利益 4 億 82 百万円、第3四半期純利益 2 億 70 百万円となりました。

また、事業別セグメントの売上高は、化成品事業が、94 億 55 百万円となりました。「感光性材料及び印刷材料」は、半導体用材料と液晶用感光性材料がともに増加し、46 億 75 百万円となりました。「写真材料及び記録材料」は、一般写真材料と映画用材料が増加し、33 億 63 百万円となりました。「医薬中間体」は、既存品の増加により、7 億 55 百万円となりました。「その他化成品」は、繊維改質材が増加しましたが、営業譲渡した子会社ダイソー技研の売上分が減少し、6 億 60 百万円となりました。

環境関連事業の売上高は、順調に推移し、13 億 84 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前期末に比べ 29 百万円減少し、198 億 9 百万円となりました。これは主として、新工場用地の購入をはじめとする設備投資により有形固定資産の増加および満期保有目的での有価証券の購入により増加しましたが、それに伴い現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ 72 百万円減少し、64 億 73 百万円となりました。これは主として、法人税等の支払および繰延税金負債の減少によるものであります。

純資産は、前期末に比べ 43 百万円増加し、133 億 36 百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少はありましたが、利益剰余金が増加したことによるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準において簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法と比較して、営業利益および経常利益が23百万円、税金等調整前当期純利益が1億74百万円それぞれ減少しております。

3.(要約)四半期連結財務諸表
(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	当 四 半 期 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		参 考 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	2,418	1,896	522	21.6	3,473
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	2,862	3,301	439	15.3	2,898
3. 有 価 証 券	100	965	865	864.6	100
4. た な 卸 資 産	3,508	3,267	241	6.9	3,452
5. そ の 他	545	822	276	50.8	667
流 動 資 産 合 計	9,435	10,253	818	8.7	10,591
固 定 資 産					
(1) 有 形 固 定 資 産	6,969	7,696	726	10.4	7,040
(2) 無 形 固 定 資 産	8	8	0	0.6	7
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	2,257	1,851	405	18.0	2,200
固 定 資 産 合 計	9,235	9,556	320	3.5	9,247
資 産 合 計	18,670	19,809	1,138	6.1	19,839
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	895	966	71	8.0	819
2. 短 期 借 入 金	1,025	460	565	55.1	326
3. 一 年 以 内 償 還 社 債	-	56	56	-	56
4. そ の 他	817	1,015	197	24.1	1,224
流 動 負 債 合 計	2,737	2,497	239	8.8	2,427
固 定 負 債					
1. 社 債	-	1,866	1,866	-	1,894
2. 長 期 借 入 金	2,060	1,700	360	17.5	1,720
3. そ の 他	579	409	170	29.4	504
固 定 負 債 合 計	2,639	3,975	1,335	50.6	4,118
負 債 合 計	5,377	6,473	1,095	20.4	6,546
(純 資 産 の 部)					
株 主 資 本					
1. 資 本 金	2,901	2,901	-	-	2,901
2. 資 本 剰 余 金	4,421	4,421	-	-	4,421
3. 利 益 剰 余 金	6,050	6,257	207	3.4	6,053
4. 自 己 株 式	662	665	2	0.3	663
株 主 資 本 合 計	12,710	12,915	205	1.6	12,712
評 価 ・ 換 算 差 額 等	549	386	162	29.7	544
少 数 株 主 持 分	34	35	0	2.2	35
純 資 産 合 計	13,293	13,336	42	0.3	13,293
負 債 及 び 純 資 産 合 計	18,670	19,809	1,138	6.1	19,839

(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円,%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		参 考 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	10,108	10,840	732	7.2	13,426
売 上 原 価	8,356	9,071	714	8.6	11,253
売 上 総 利 益	1,751	1,769	17	1.0	2,172
販売費及び一般管理費	1,168	1,164	3	0.3	1,597
営 業 利 益	583	604	21	3.7	575
営 業 外 収 益	45	58	13	29.6	62
営 業 外 費 用	125	180	54	43.8	234
経 常 利 益	502	482	20	4.0	403
特 別 損 失	2	225	223	9,884.1	16
税金等調整前四半期 (当期)純利益	500	256	243	48.7	387
法 人 税 等	145	12	158	108.8	30
少 数 株 主 損 益	2	1	3	138.5	2
四 半 期 (当 期) 純 利 益	352	270	82	23.3	355

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期(平成20年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	9,455	1,433	312	11,201	(360)	10,840
営 業 費 用	9,065	1,243	304	10,613	(377)	10,236
営 業 利 益	390	189	8	587	16	604

前年同四半期(平成19年3月期 第3四半期)

(単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	8,939	1,221	322	10,483	(375)	10,108
営 業 費 用	8,551	1,050	313	9,915	(390)	9,524
営 業 利 益	388	171	8	568	15	583

参考(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	化成品事業	環境関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	11,873	1,624	440	13,938	(511)	13,426
営 業 費 用	11,543	1,417	427	13,387	(536)	12,851
営 業 利 益	330	207	13	550	24	575

(注) 1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 事業区分の主な内容

- (1) 化成品事業 …… 感光性材料及び印刷材料・写真材料及び記録材料・医薬中間体・その他化成品
- (2) 環境関連事業 …… 産業廃棄物の処理および再生事業等
- (3) その他の事業 …… 物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負等

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計額及び全セグメント資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。